

学校だより

# にしづえ

甲斐市立双葉東小学校

平成22年4月15日号

## 平成22年度いよいよスタート!

### ~かしこく やさしく すこやかに~

4月6日、双葉東小学校平成22年度入学式の日でした。私は朝6時に起床し天気が気になっていたの  
で、まずカーテンを開けると、なんと前日の雨が嘘のように上がっていました。薄曇りでしたが、通勤  
途上のラジオから流れてくるその日の予報は、快晴。気温は20℃ぐらいまで上がるとのことでした。  
自宅の周りの桜、早川橋周辺の桜、そして52号に入り、車を走らせながら眺める鰍沢の大法師公園の  
桜はまさに満開でした。日本気象協会による28日の満開予報が外れ、桜の満開時が入学式の日に合  
わせてくれたようでした。翌日の、風の吹きすさぶ真冬なみの気候のことを考えると、天も味方している  
双葉東小学校に誇りすら感じる事が出来ました。

そして、8時20分から新任式・始業式・入学式と立て続けに行  
い、双葉東小学校の平成22年度がスタートしました。人事異動  
により9名の先生方をお迎えし心も新たに、子どもたちが健やか  
に成長できるよう、教職員一同一致協力して全力で頑張ってい  
きますので、保護者、地域の皆様のご支援とご協力をお願い致し  
ます。

本年度の新入生は114名(男子58名、女子56名)です。入  
学式の中では担任に名前を呼ばれると、大きな声で「はい!」と返  
事をして起立し、元気で初々しい姿を見せてくれました。校長式  
辞では、これから双葉東小学校一年生として学校生活を始めるに当たり、学校目標についてかみくだ  
いて話をしました。具体的な話の内容は次の通りです。



一つ目の願いは『かしこい子になってほしい』と言うことです。小学校は何をしたらいいところでしょう。小学校は「お勉強をするところ」です。このことをしっかり覚えておいて下さい。双葉東小学校の先生方はお勉強を上手に教えてくれる先生方ばかりです。勉強を楽しんで下さい。

二つ目の願いは『やさしい子になってほしい』ということ。たまにはけんかになることもあるかもしれませんが、そんな時、校舎にはってある横断幕に書いてある「やさしい心あふれる笑顔」を思い出してほしいのです。やさしい心を持てば、たくさんのお友達と仲良くできたり、あふれる笑顔にもなれます。

三つ目の願いは「すこやかに育ててほしい」ということです。昨年完成された芝生の校庭で思い切り遊び、好き嫌いなく給食を食べ、そして学校を休まないということです。学校に来るということは本当に素晴らしいことなのです。お手本は、皆さんの前に座っている六年生のお兄さん、お姉さんです。六年生を見習ったら、きっと素晴らしい双葉東小学校の一年生になれます。

新入生は、この3つの願いに対し、一つひとつ反応を示してくれて大変うれしい思いがしました。

また、増坪愛子様(教育委員長職務代理者)、藤田廣子様(市会計管理者)、込山伸一様(市議会議員)志村浩二様(P.T.A会長)より、お祝いのご言葉や励ましの言葉をいただきました。新入生114名は手いたずらや足をぶらぶらすることもあまりなく、約30の幼稚園や保育園からの祝電が物語るように幼稚園・保育園教育の成果が表れていました。また、六年生の歓迎の呼びかけや合奏にも目を輝かせて聞き入っていました。

本校に入学した114名の一年生が、これからどのように成長していくのか、ときどきするほど楽しみです。「双葉東小学校に入学させてよかった」と全保護者の皆様が異口同音に言っていただけ、教

職員一致協力し精一杯教育活動に当たりたいと思います。

## 双葉東小学校教育の推進

平成22年度の双葉東小学校の教職員です。このスタッフで1年間教育活動を推進していきます。よろしくをお願いします。

学 年	1組	2組	3組	4組
1	佐藤 栄志	服部 澄江（主任）	飯田 智佳子	保坂 里美
2	荻野 淳子	三井 美智子（主任）	浅川 妙子	渡邊 和也
3	大間 小百合	水上 幸子（主任）	清水 善弥	
4	伊藤 義嗣	仙洞田 瑞恵（主任）	久保田 勲	
5	小森 文香	廣瀬 昇（主任）	長谷川 佳代	
6 森本 直美（主任）	竹野 貢造	増坪 広夫	小俣 真由美	
たんぼぼ	篠原 房美（特別支援コーディネーター）			
教 務	教務主任：大柴 剛一 教務副主任：保坂 悠太（江頭かや子 4/26～産休育休） 非常勤講師（午前中勤務）野一 廣 教育支援員：佐野 弘子・達下 ひとみ ALT：ソニヤ・ブリークリー 養護教諭：堀之内 恵美 司書：池田 悠子 事務主査：清水 紀子 庁務員（交代制）：溝 睦夫・米山 正憲 教頭：甲田ふみ子 校長：中 千博 ※スクールカウンセラー：百瀬 裕三（金曜午前勤務）			

本年度は、学校目標『「かしこく やさしく すこやかに」①自ら学び自ら考え行動する子ども②人を愛し自然を愛する子ども③健康で安全な生活をめざす子ども④困難なことものりこえる子ども』とし、その実現のために主に次のような方針で教育活動を推進していきます。

- ①すぐれた伝統を尊重し、児童や地域社会の実態を把握し、学校教育目標の具現化に努める。
- ②豊かな心の育成に向けて、豊かな人間性とその基盤となる道徳性を育てるために、研究・実践に当たる。
- ③確かな学力の定着に向け多様な指導方法を工夫し、日頃の教材研究を十分行い、学ぶ喜び、分かる喜びを味わわせると共に、基礎・基本の確実な定着を図る。
- ④児童集団の中に起こる様々な問題・課題に対して、子ども自らが気づき、解決に向け発言し、集団の向上・発展に向かって立ち上がる指導を通して、集団づくりを行う。
- ⑤不登校やいじめ等児童の課題に対して、担任一人だけの悩みとせず、学年体制、全校体制など組織的な対応のもとに適切な支援・指導を行う。
- ⑥教育課程の編成・実施・評価・改善のシステムを大切にし、それらが相互に働くように努める。
- ⑦学校の施設・設備、地域素材・地域の人材を活用し、幅広い教育活動を展開し、児童の生きる力の育成に努める。
- ⑧児童の安全確保と学校の安全管理の充実を目指して、教育環境を整備し、明るく楽しい学校づくりと児童の健康・安全教育を推進する。
- ⑨特別支援学級の経営についての共通理解と適切な指導に努める。
- ⑩学校・家庭との信頼関係を大切にしながら、児童の良い点や課題について、共に考え合い・育てるといった基本的な関係を踏まえて、適切に情報交換する。
- ⑪教職員は常に課題意識を持ち、常に今一歩前進・向上を求めて研修・実践に努める。
- ⑫教職員の和と信頼関係を深めつつ、協力して教育活動に専念できる職場づくりに努める。
- ⑬開かれた特色ある学校づくりを推進するために、学校の情報を的確に保護者・地域に発信し、家庭や地域社会との連携を十分に図り、学校評価システムを確立して教育効果を高める。

